

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立戸板小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒920-0068
石川県金沢市戸板1丁目1番地

E-mail toita-e@kanazawa-city.ed.jp

Website <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/toita-e/>

児童生徒数 男子 350名 女子 364名 合計 714名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

金沢市立戸板小学校

[はじめに]

本校は、全校児童は714名、教職員は45名である。金沢市の中心部に位置し、創立144年の歴史があり、一昨年度の4月から新校舎としてスタートした。校区には、金石街道という歴史ある街道が通っている。町の随所に神社などの古い遺構が残り、水田や梨園も残る地域である。また、地域の南端には犀川があり、古来より地域を潤し、人々はその自然を享受してきた。近年では、大きな道路に囲まれ都市化が進み、工場団地や商店・新興住宅街などが多く見られるようになった。

ユネスコスクールの認定を受け、「共に生きる」を主要テーマとして持続発展教育の実践に取り組んで来た。今年度で7年目となる。

共に生きる

～「かかわり合いながら学ぶ」問題解決の学習を通して～

1 ユネスコスクールとしての取組 3年 「大豆発見隊」

1学期の最初に、私たちがどれくらい大豆を食べているか調べた。そして毎日のように大豆製品を口にしていることが分かり、大豆に対する興味が広がった。そこから、「大豆はどのようにできるのか」「大豆製品にはどんなものがあるのか」「大豆からどのようにして豆腐や納豆になるのか」など、大豆についての疑問を出し合い、それらの疑問を解決していこうと、詳しく調べていくことにした。



まずは、自分たちで大豆を植えて、大豆の生長を観察していった。また、大豆製品に注目し、醤油や豆腐、味噌などの作り方や歴史、種類を調べることにした。どのクラスも醤油に興味を持ったので、まずは全員が醤油について調べた。校区にある石川醤油の方に協力していただき、工場を見学させていただいたり醤油の作り方や秘密を教えていただいたりして醤油について学んだ。豆腐や味噌、納豆など、身近な大豆製品については学級ごとに調べたり、作ったりした。1月に行われた「学習発表会 in 戸板」では、調べてわかったことや作って思ったことなどを、クイズや劇、ペープサートなど、様々な方法で地域の方や他学年に発表した。

体験や見学、調べ学習などを通して大豆について深く知り、大豆が身近な存在であることに気づくことができた。また、作り手の思いや苦労も知ることができた。昔ながらの製法を取り入れた先人の考えに寄り添いながら、先人の知恵と技術のすばらしさを感じることができた。

4年 「〇〇にやさしく」

今年度は、「〇〇にやさしく」というテーマで、1学期は「人にやさしく」というテーマで正美保育園の園児との交流を行った。子どもたちは、事前に園長先生の話の聞いたり、保育園に見学に行ったりして、園児たちが好きな遊びや園内での過ごし方を知った。交流では、事前に知り得た情報を生かして遊びを工夫して行うことができていた。



2学期は、「地域にやさしく」というテーマで、金沢学びタイムとして金沢の伝統工芸について調べた。導入では、実際に金箔貼り体験を行うことで、金箔に興味をもつことができた。さらに、本やパンフレットを使って調べ、分かったことを新聞にまとめることで、現代までどうして息づいているか考え、伝統を守り続けることの大変さと大切さを感じることができた。

3学期は「環境にやさしく」というテーマで、地球温暖化や戸板小学校のエコについて調べた。その際に、ゲストティーチャーとして戸板小学校を建設した高屋設計さんに来ていただき、戸板小学校のエコについてお話をもらった。そして、実際にLED電気、間伐材、太陽光パネルなどがどうしてエコになるのか本やインターネットで調べた。学習発表会では、地球温暖化の仕組みや温暖化によって引き起こされる様々な問題、温暖化対策となる戸板小学校のエコの施設などについて模造紙にまとめたり、ペープサートや紙芝居などで表現したりして発表を行った。

5年 「わたしたちの犀川」

学習をスタートするにあたり、身近な川「犀川」の中流～若宮大橋付近～に出かけ、見た目の様子を観察し、感じたことや発見したことを発表し合った。犀川の水質や歴史などに興味・関心を持っていることが明らかになり、学年全体では、水のきれいさに注目し、犀川の水はきれいさを中心に据え調べていくことにした。



まずは、水のきれいさは水生生物でも調べられるということが分かったので、9月には、若宮大橋付近で水生生物を捕獲し、水質階級の判定表をもとに、犀川の水はきれいだということを知った。話し合っていくうちに、上流や下流ではどうだろうかという疑問が出てきた。そこで10月の秋の遠足では、大桑方面に向かって出かけ、水のきれいさ、周りの様子、石の形や大きさ、水の流れ方などの視点を設けて観察し、若宮大橋付近との違いを見つけることができた。さらには、11月にはバスで上流にある辰巳ダムや下流の金石港でも同様に水質調査を行った。今年度は浅野川にも足を伸ばし犀川との違いや共通点などを調べてきた。

テーマの中には、水質以外にも犀川で行われているイベントや犀川にゆかりのある人なども調べることができた。

こうして調べたり考えたりしたことを校内や保護者、お世話になった方に「フェスティバル in 戸板」で発信した。またサケの飼育や放流を通して犀川環境について考え、学びを深めることにつながった。

6年 「金沢発世界行き」

児童の金沢に対するイメージの実態把握を含め、「金沢ってどんな町かな」と投げかけることから本年度の学習がスタートした。子ども達はこれまでの学習を生かした発言や生活経験から感じていた金沢に対する印象を出し合った。「金沢城や兼六園、東山の茶屋街や武家屋敷がある」「百万石祭りがある」という発言が多く出された。「金沢は、歴史がある名所や建造物がたくさんある都市だ」とまとめることができた。また、多くの観光客が金沢の名所を訪れるために旅行に来て



いることや、外国人観光客が「名所見学」が目的で訪れる人が多いことを紹介した。「金沢の魅力をもっと知りたい」「金沢のことを紹介したい」「もっと外国の人に金沢のよさを知ってもらいたい」という思いを強く持つことができた。

歴史的建造物で調べたいところを見つけ出し、「華やか金沢」や「子ども金沢市史」等の書物やインターネットで金沢に対する理解を深めた。そして、実際に町探検に出かけ、金沢のボランティアガイド「まいどさん」の案内で、金沢の歴史ある街並みや建造物に直に触れることができた。また、秋には歴史博物館、金沢城、武家屋敷、天徳院へそれぞれがグループで見学計画を立ててもう一度市内を探検してきた。

これらの活動で得たことを発信しようということで、1月に校内の学習発表会で5年児童や保護者、地域の人に金沢の魅力を紹介することができた。また、2月には、金沢市の姉妹都市である中国、フランス、アメリカ合衆国出身の国際交流員の方を3名お迎えして、金沢の魅力発信をした。外国の方々からもそれぞれの国の金沢と違うところや姉妹都市という金沢とのつながりについて教えてもらい、驚きながら興味をもって交流ができた。子ども達は、街並みや建造物が金沢と大きく違うことに驚くと共に、合わせて話して頂いた生活様式や文化について興味を抱くことができた。

この1年間、いっしょなところに出かけたり、地域の方や外国の方との交流をしたりして、視野が広がるとともに、自分たちの町、金沢の魅力を再確認できた。

2 成果と課題

主体的な課題の解決

- ・本校では、地域へのESDの発信の場として、今年度1月に「学習発表会 in 戸板」を設定した。1つ下の5年生を主な発表相手と限定することで、より相手を意識した発表を構想しようとすることができた。保護者の方からも「工夫している」「くわしく説明していてわかりやすい」という感想をいただいた。

持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫

- ・総合的な学習の時間で使ったワークシートや活動の写真だけでなく、教材として一時間ごとの授業について、課題とまとめ、使った資料やゲストティーチャーなどについても記録した。これにより、教師は、こどもたちの意識が継続する展開を心がけるようになってきた。

持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫

- ・1年間「金沢発世界行き」というテーマで取り組んできたが、「見つける→調べる→考える→まとめる→伝える→生かす」というサイクルを子ども達が理解し、主体的に取り組んでいる姿にまでは至っていない。4月のオリエンテーションにおいて、前年度の成果物等を提示することで、子ども目線で見通しをもたせていくことが必要であった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）